

# クイズに答えて素敵な商品をGET



2012年に様々な細胞に成長できる能力を持つips細胞を作製した日本人の中山伸弥さんがノーベル賞の医学生理学賞を受賞したことは記憶に新しいと思います。では2014年に高照度青色発光ダイオードを発明して中村修二さんら3人が受賞したのはノーベル賞の何賞でしょう？

- ① 文学賞 ② 化学賞 ③ 物理学賞

ヒント…日本人として初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹さんと同じ賞といえば？



**応募方法** プレゼントの応募方法…同封のハガキ解答欄に回答をご記入の上、御返信下さい。

今回のプレゼントはノーベル賞開催国であるスウェーデンの家具店IKEAから選りすぐりの商品をお届けいたします。

- ④ 万能時計(時計・温度計・タイマー機能付き)10名 ① LEDミニセンサーライト 10名  
⑤ 香り付きキャンドル3個セット 5名

**応募期間** 2015年4月30日(木)(消印有効)まで

**当選発表** 賞品の発送をもって当選とさせていただきます。

皆様の  
ご応募お待ち  
しております

## 新入社員紹介



マツオ セイヤ  
松尾 誠也



オグラ アツヨシ  
小椋 淳凱



カワノ シュンタロウ  
河野俊太朗

**生年月日** 平成3年2月1日

**血液型** AB型

**マイブーム** ビリヤード、ダーツ、カラオケ  
PCいじり… でも今PCが壊れています

工務部の松尾です。まだまだ未熟者ですが、日々成長できるようこれからも精進しています。  
よく中村獅童に似ていると言われますので現場で見かけたときに“あの人が松尾”かと思つていただけるとうれしいです。

**生年月日** 平成7年10月3日

**血液型** O型

**マイブーム** プラモデル製作・ジョギング

製品課で石材の研磨を担当している小椋です。  
自分はまだ覚える事がたくさんありますが、あきらめずに頑張っていきます。

**生年月日** 昭和54年6月11日

**血液型** O型

**マイブーム** 日本酒・温泉

文字彫刻を担当している河野です。  
お墓の一番目立つ箇所の作業ですので丁寧な仕事を心がけています。

ご意見・ご感想・質問などどんなことでもお便り下さい。

創業300年 技術の

**K國松石材株式会社**

平尾店／福岡市中央区平和3丁目12-27(平尾靈園下)  
TEL 092-401-4194 FAX 092-401-4189

工 場／福岡市東区松田3-6-12  
TEL 092-629-1189 FAX 092-629-2043

<http://www.kunimatu.com> 国松石材 検索

## 編集後記

いまだ寒い日が続きますが、3月は啓蟄(けいちつ)と言い冬眠していた虫たちが土の中から出てくる季節です。  
人間もコタツの中から出てくる季節でしょうか？…

(國松太朗・田中俊晴)

國松石材 がお届けする手作り新聞

2015年春号

第28号

# 松まつくり

## 1 季節の小話

## 2 お墓の相談室 「疑問・質問にお答えします」

## 3 第28回 町名散歩「香椎」

## 4 お墓参りっていいね！

「お墓参り」の感動的なエピソード

第4回 女優・中村メイコさん



## 5 お客様からの声

## 6 國松さん、今なんしようと？

國松石材スタッフ紹介

## 7 8 クイズに答えて素敵な商品をGET！

## ツクシ 土筆

冬が終わると、春を待ちこがれていたように、土筆(ツクシ)がスクスクと生えてきます。ツクシは3億年も前から生き続ける不思議な植物ってご存知でしたか？

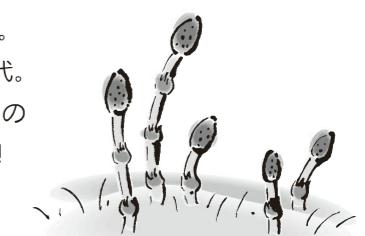
では、ツクシって一体どんな植物でしょうか？その力ギは、ツクシが枯れ始める頃に同じ所に生えてくる「スギナ」にあります。このスギナとツクシの関係を調べるために、地面の下をそっと掘ってみましょう。すると、まったく違う植物に見えるスギナとツクシが地下でしっかりとつながっているのがわかります。

スギナには花がありません。その花のような役割をしているのがツクシなのです。

今から3億年前の地球上は、こうした植物たちが巨大な森林をつくっていた時代。その森林には、スギナの先祖も生えていました。でも、今のスギナとちょっと違うのは、なんと幹の直径が30cm、高さが15m以上もあったらしいのです。驚きですね！

お墓参りの後にツクシを見つけたら、ツクシ料理にチャレンジしてみませんか？

胡麻和えや佃煮などにすると、歯ごたえのよい“春の風味”が味わえます。





## Q&amp;A

## お墓の相談室 疑問・質問コーナー



## 墓石クリーニング特集

お墓に使われている石は硬くて強いため、そうそう壊れるものではありません。ですが長年の風雨による埃や水垢で徐々に輝きを失ってしまいます。そこで今回は墓石クリーニングにスポットを当ててみました。

1

普段何気なくお参りしているお墓ですが…



2

近づいてよく見ると長年蓄積された水垢が…日当たりが良く風も通る墓所ですが石にとっては過酷な環境です。ちなみにこのお墓、今から38年前に建てられました。



3

そこで頑固な水垢と戦うクリーニング技師古賀さんの登場です。ポリッシャーという回転盤を備えた磨き機を使い石が焼きつかないように水をかけながら水垢を除去していきます。



4

状況に応じて回転盤を付け替えて作業を進めます。



5

文字彫刻部分や機械が届かない場合には丁寧に手作業で汚れを落としていきます。



6

4時間半に渡るクリーニング作業で見事に水垢を除去する事ができました。代々大切に受け継がれるお墓のクリーニングお見積もりは無料ですのでお気軽にお問い合わせください。



ご質問がございましたらご遠慮なくご一報下さい。

國松さん、  
今なんしようと?

## 『正行寺名号碑建立工事』



正行寺境内

筑紫野市二日市にある浄土真宗正行寺。正行寺の源流は火の国、阿蘇に行きつきます。阿蘇地方には、4~5世紀頃から、國の安泰と五穀豊穣を神に願う祭祀を司る豪族、阿蘇家があります。その阿蘇家の一族に、竹原主水正種善（たけはらもんどのしょうたねよし）という若い武将がいました。戦乱の世に筑前国二日市にたどり着き、出家して了圓（りょうえん）と号されました。

何故二日市に来て、出家したか定かではありませんが、恐らくは三十前の若さで、代々國と領民の平安のみを願う敬神崇拝の家柄にありながら、血なまぐさい戦乱と主家の内紛を目のあたりにして、最後は筑紫野の戦場で、古刹が炎上するのを見ながら、流転輪廻（るてんりんね）の業報（ごうほう）の空しさ、世の無常を人一倍感じていたことで出家を思い立たれたようです。

二日市には、よく旅人や困窮する人を助けた数百年の歴史を持つ大賀家があり、大賀家の先祖は、その若い武将の深い菩提心を尊んで、三百坪の土地を寄進し、坊舎を建立し、天正11年（1583年）住職に迎え入れられました。そして、本願寺・教如上人の弟子となり、文禄2年（1593年）2月10日、本願寺より本尊阿弥陀如来の木佛と、寺号が許され、ここに浄土真宗正行寺としての歴史が始まりました。

このたび弊社は、正行寺英彦山境内に『名号碑』355基を施工させていただきました。門徒様方々の揮毫による「南無阿弥陀佛」を1基々に刻み、すべて手加工(手仕上げ)の製作。お話をいただいてから試行しながらの製作、期間を要しましたが、無事名号碑を建立することができました。

同じ境内地には、名号碑の製作にご教示を仰いだ石材加工の第一人者 株西村石灯呂店会長 西村金造氏製作の親鸞聖人内室・惠信尼公の『五輪寿塔』、境内東面には英彦山神宮奉幣殿を挙げるための『奉拝柱石』が建立されています。

鐘楼下の『五輪寿塔』はご恩報尽の浄土のお相として、その周辺の『名号碑』が報恩、まことの祈願を表されていることであります。



英彦山 名号山

営業担当／木村圭蔵 工事設計担当／宇津宮豊胤・國松祥治・花田義久

## 國松石材スタッフ紹介

正行寺様の名号碑製作にあたっては1本1本の手による加工は、石の表面が柔らかく仕上がる反面、同じ形、大きさに揃えて作ることに苦労がありました。355基が整然と並ぶ姿は厳かで清々しく、英彦山の風景に溶け込んでいます。

- 生年月日 / 1966年2月12日生まれ
- 血液型 / O型
- 資格 / 1級土木施工管理技士  
1級石材施工技能士

- 最近楽しんでいること / 手作りソーセージにはまっています。一度にできる量は限られますですが添加物無しのソーセージは家族や同僚にも好評です。



工務部 宇津宮 豊胤

## お客様の声

國松石材とご縁をいただいたお客様の  
温かいメッセージをご紹介します

「いい出会いができ立派なお墓を  
つくっていただいた事は  
遣り遂げた達成感で  
満足しています。」



東区にお住まいの大西様ご家族

此の度は、植葉園では、田中さんは、本部に御世話を仰られました。  
誠心誠意の田中さんの対応には、敬然とした、うその無い信頼でき  
る態度が伺え  
國松石材さんの会社の品格、綱理等、素晴らしい会社のやまと思え  
ます。これらの要望も、嫌な態度をとりません。気持ちよく対応して下さ  
る姿勢に、さすが、誠実な業者とお感じ頂いたと思いま  
す。田中さんの誠意ある態度が、家族全員安心して、心地よくお預けで  
おりました  
國松石材さんには、初めて立派な会社が、格式ある会社め、又立派な  
人材を育て、確保してある事が、國松石材さんにお墓をお預け頂いた事  
を、心より嬉しく思っております  
いつも、心地よい唯一の石材店、田中さん、有難うございました。  
田中さんも今以上に、國松石材さんと共に、業績を伸ばしていく事を  
お祈り、植葉園のお墓を大切に守りにくつかります  
いい、お会いできて、立派なお墓をつくりていただき、事は、達成感が大進  
成感で満足しております。本当に満足を頂きました、心より感謝を申上げます

## 担当者から一言

大西様はお墓の形にこだわりをもちながらも、まわりの人がケガをしないようにとできるだけ石の角を丸くしたいと気遣いをされてました。工事スタッフにも優しくして頂きありがとうございました。

そんな大西様のように人に優しくできるよう私も日々頑張っていきます。

今後とも末長いお付き合いをよろしくお願ひいたします。

お客様係 たなか としはる  
田中 俊晴

「会いにきてくれて  
ありがとうございます」感謝の  
気持ちがあふれる  
お墓になっています



香椎宮

かけておいた椎の木からすばらしい香りが周囲に広がったことから、椎（しい）の木が香（かお）ると書いて「香椎（かしい）」と呼ばれるようになったそうです。そんな香椎には仲哀天皇をお祀りしている「香椎宮」がありますのでご紹介します。

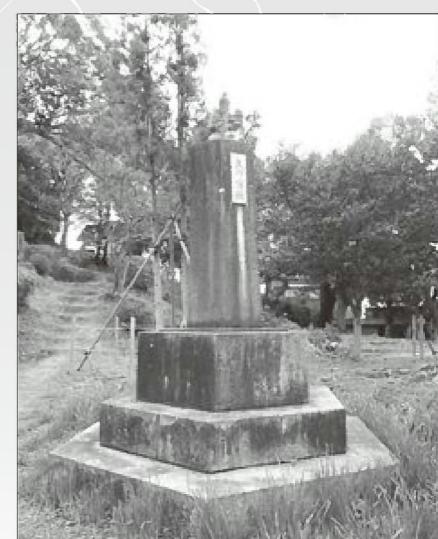
まず注目したいのが、思わず見上げてしまう巨大な樹木が生い茂る境内です。まるで緑の優しさに包み込まれるような感覚です。そんな中、ひと際存在感のある大木が1本あります。神功皇后（じんぐうこうごう）が西暦200年に植えられたと伝わる御神木の「綾杉（あやすぎ）」です。樹齢は何と約1800年です！何度も戦火に見舞われたそうですが、その度に新しい芽が出て現在にいたるそうです。まさに香椎宮の歴史そのものです。でも、ここは香椎のお宮なのに、なぜ御神木が杉の木なのか不思議に思いませんか？ご安心ください。境内のすぐ裏手にある古宮では、仲哀天皇の棺がたてかけられた伝説の椎の木を「御神体」に見立ててお祀りしてあるそうです。

また、香椎宮の本殿は日本唯一の「香椎造（かしいづくり）」なる建築様式で、国の指定重要文化財になってます。まばゆいばかりの朱色に染まった本殿の木組みと境内を囲む樹木の深緑色とのコントラストが美しく、神々しい雰囲気です。

そして綾杉、本殿と並ぶ、香椎宮のもう一つの見所が、日本三大名水にも数えられる「不老水（ふろうすい）」なる湧き水。境内から徒歩7分程度の距離にある汲み場では、この水で300歳まで生き長らえたという仲哀天皇の臣下、武内宿祢（たけのうちのすくね）の伝説にあやかろうと、絶えずたくさんの方が訪れているそうです。私も長寿のためにぜひ通いたいものです。皆様も香椎宮にお参りして自然と歴史を堪能した後は、この不老水をお忘れなく訪れてみてください。



御神木「綾杉(あやすぎ)」



武内宿祢

第28回  
町名散歩  
**香椎**

香椎

第14代仲哀天皇（ちゅうあいてんのう）が新羅遠征（しらぎえんせい）を前に急死した際、その棺をたてて

「お墓参り」の感動的なエピソード

お墓参りっていいね！

## 第4回 女優 中村メイコさん 「神津家のお墓には入らないもん」

中村メイコ著『人生の終いじたく』(青春出版社)より

神津サンは病床の父の耳元で、「長い間、ひとり娘さんをお預かりして寂しかったでしょ。ごめんなさい」。そして、約束したそうです。「メイコが死んだら、パパの中村家のお墓に返します」。すると、父がとてもうれしそうに、にこっと笑ったといいます。

中村家は学者の家系で、お墓は芝の青松寺にあります。古い家ですから、お墓もけっこうきつきつです。まだ元気だった頃、父が、「金に余裕のあるときに、新しい墓をぼくのために建てておいてくれ」。「えっ、パパは芝の青松寺に入るんじゃないの？」。

「名目上は青松寺に入るけど、チエコのことだから、ぼくのお骨の一部をこっそりとておくかもしれない。ぼくたちの墓があれば、チエコもあんな堅苦しい中村家の墓に、正常の嫁でございます、なんて気兼ねしながら入っていくこともない。ぼくとチエコのためのスイートホームをつくっておいてほしいんだ」

そうはいっても、私は多摩墓地にある神津家のお墓に入るわけですから、両親の墓を建てるのも妙な話です。ところがある日、神津サンが「きみは神津家のお墓には入らないんだよ」。「えっ、離婚されちゃうの？」。

そのとき、はじめて神津サンから病室での父とした約束についてきかされました。  
「出世するかどうかわからない若造が、大事なひとり娘にプロポーズしたとき、パパは反対ひとつならなかった。ホントに感謝しているんだ。メイコをお返しします、と約束したときの、パパのにこっと笑った顔が忘れられない。ぼくは約束をはたしたいんだ」

おもしろいことに、母が亡くなったあとに出てきた手紙に、「中村家の窮屈そうなお墓には入りたくないから、母のお墓に入れてください」とあって、その手紙には父の小さなお骨がそえられていきました。母は父の予想どおり、父のお骨の一部を盗んでおいたのです。

これで、条件はすべて整いました。愛知県の豊橋から少し入った、私の母方の祖母のふるさとに両親の「スイートホーム」を建てました。安く助かりました。東京都内では高くて、私などにはとても手が出ませんものね。

墓石には「中村正常の墓」と、「最愛のチエコ」と彫って、そばにはすでに「メイコ」と赤い文字で彫ってあります。生前に名前を彫る場合は、赤い文字なのだそうです。カンナがもし一生独身だったら、このお墓に入ることになるでしょう。

母のお骨は丸々入っていますが、父のお骨は一部だけ。スイートホームで蜜の夫婦は、のびのびとふたりだけの生活を満喫しているはずです。

うちには仏壇がありません。父は無神論者でしたし、私は元・クリスチヤン。幼い頃に洗礼を受けて、クリスチヤンネームはローズマリー・サツキ・メイコです。せっかくのステキなクリスチヤンネームでしたが、お返しました。この名前をいうと、みんなガラガラ笑っちゃうし、神津サンも無神論者みたいなもので、自分の母親が亡くなったときにも、どうしても仏壇は置きたくない、といいました。

仏壇のかわりに、違い棚に両親と神津の母の写真とそれぞれの位牌を飾って、まっ白な小さな陶器をひとつ、お線香立てにして置いてあります。

ひばりさんの写真はいつも見えるところに飾ってあります。何かあるたびに、こうだったのよ、ああだったのよ、とおしゃべりをして、プランデーやラビールやらを写真の前に並べます。ひばりさんの写真の前は、もうお酒だらけ。

我が家では、命日と母たちは母の日、父は父の日、そしてなぜかお誕生日、の3回は、違い棚から写真を出してリビングに飾り、お花を供えて故人を偲びます。

私は命日よりもお誕生日をよく覚えています。ひばりさんの誕生日は5月29日。あと1か月早かったら昭和天皇と同じだった、といっていました。ひばりさんの命日には、神津家の全員の名前でお花を届け、お誕生日には私だけの名前で届けます。「お誕生日、おめでとう」とちゃんと書いて贈ります。私はかり歳をとるのはいやです。「3つ年下だから、あなただってもう73歳だもんね」などといながら、花屋さんで花を選びます。

私もそう遠くない将来、両親のお墓に入るはずです。遠方なので、年に1、2回もお参りしてもらえば、御の字。で、家のどこかに写真ぐらいは飾ってもらえるとうれしいな。

命日と母の日とお誕生日の年3回、その写真にお花などをむけて、それからプランデーか赤ワインを供えて、ちょこっと私のことを思いだし笑いのネタにでもしてもらえば、もう万々歳。私の命日は思いだししてもらえそうです。だって名前がメイコ。メイ日、なんちゃって。



中村メイコ著  
『人生の終いじたく』  
(青春出版社)  
発行日 2010年11月5日

### お客様の声

國松石材とご縁をいただいたお客様の温かいメッセージを紹介します

## 「墓を造る」

今年中に、妻と父のお骨を納める墓を造ろうと思い立って、墓についてあれこれ調べてみた。私の家系は各地を転々としてきたために、先祖累代の墓といったものがなかった。加えて、父の実家は曹洞宗、妻は浄土真宗、父母は天理教と宗派もまちまちである。しかも私の子供は二人とも娘であり、男子継承者がいない。こんな条件でお墓を造るとなると、そもそも墓とは何か、根本に立ち返って考えなければならなかった。樹木葬、市民墓地、寺の永代供養、民間経営の霊園など、あれこれ見て回ったが、どれも一長一短、値段もまちまちである。決断しかねている私の背中を押したのは「ウイキペディア」のお墓についての説明であった。いわく「すべての墓は無縁仏になる」というもの。確かにその通りである。寺の永代供養といっても、長い間に廃寺になるし、地震その他の天変地異によって寺も墓も丸ごと土に埋まってしまう可能性だってある。どのような形態の埋葬であれ、一番可能性が高いのは墓の面倒を見る人がいなくなることである。5年に及んだ私の四国遍路も1400キロを踏破し、今年の3月に結願したが、あちらこちらで墓石が瓦礫の山と化した無残な墓地をいくつも見てきた。苔むして、まっ二つに折れた墓石の裏側からは「寛永」、「寛政」といった江戸時代の年号を読み取ることができた。わずか200年足らずの間に多くの墓が無縁仏になるとすれば、私の造る墓も同じ運命をたどるだろう。いや、もっと早くに打ち捨てられるかもしれない。墓は死者のためにあるのではなく、生きている者たち、故人を偲ぶ者たちのためにあるのだと得心した。私と二人の娘たちのために、生前、妻が好きだった油山の中腹、油山観音(臨済宗)にお墓を造った。寺のご住職が大変穏やかな、おおらかな人であったことも幸いした。

今回、國松石材に造っていただいたお墓は、写真にあるように、とてもシンプルなものになった。インド産の黒御影石に故人の名前と生没年を刻んだだけの、とても簡素な墓である。石材屋さんのサンプルをもとに、自分であれこれ工夫した墓に、今は満足している。納骨式に参列していただいた方々にも大変好評であった。

お墓を造って、一番、大きく変化したのは、実は、私自身の心であり様であったかもしれない。妻と父のお骨を土に返すことができだけでなく、自分の納骨場所=「終活」の最終地点が決まったこと、何よりも、私が死んだあと、お墓のことで娘たちを煩わせずにすんだことが大きかった。お遍路を終了し、お墓を造りえたことで私の心も少し楽になった。國松石材の木村さんには丁寧に対応していただいた。心より御礼申し上げます。



インド産黒御影石を西洋風の棺型墓碑と献花鉢、香炉は円柱型のフタ付にして、外枠は低くシンプルなデザインになっています。

### 担当者から一言

松塚様と具体的なお墓づくりの話をはじめる前に、松塚様のお墓に対する考え方や想いを聞き、お墓の本質をご理解されてある方だと感銘を受けました。そこでお墓のデザインを考え、打ち合わせを繰り返していきご希望に添えたお墓を完成することができました。松塚様がおっしゃった、何よりお墓を造りおえたことで心も楽になられたことが、担当者としての喜びです。松塚様のお墓、本当にいいですよね！



お客様係 木村 圭蔵



城南区にお住いの松塚様ご家族